



小さな生きものたちの大きなお面をつくろう！ 本濃研太の段ボール彫刻ワークショップ☆

ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ
有馬（表現を通して生きものを考えるセクター）

総勢 51 名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。イヌ、ネコをはじめ、アリやライオン、なんとシジミまで！個性豊かなお面ができあがりました。一生懸命に色を塗っている方、隣の方とお話ししながら作っている方など、みなさん思い思いに過ごされていました。初の試みの段ボール彫刻ワークショップ、来場者もスタッフも楽しむことができ、大成功でした。次回も楽しい催しを企画しています。ぜひ生命誌の催しに参加してください。

「何もないところから（生きものの）形ができてくるのが面白い」とクモの発生を研究する醍醐味を語る小田研究員



それを受けて、「（細胞シートのような）一枚の段ボールからこのように立体を作っていきます」と生きもののお面の作り方を説明する本濃さん





会場にはクモやナナフシなどたくさんの生きものと顕微鏡を用意しました。



親子で協力しながら貼ったり、切ったり。



だんだん形がみえてきたね。



色を塗って。ライオンかな？



お面のできあがり！

